

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふくらkids・夢（ふくらトータルケア那珂）			公表日		2026年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	5	フロアが床と絨毯に分かれている為活動に応じて使い分けをしている。/ワンルームだが時間帯や活用によって移動したり工夫している。利用定数によって活動規模の広さを検討する。/使用しない物はしまったりテラスに天日干しも兼ねて出すようにしている。/昼寝の時間など、活発に活動する子もいるので、静かに遊んだりお昼寝の子と上手く分けられていると思う。/有効にワンルーム空間を使えるように活動によって場所移動やコーナー分けの工夫をしている/利用定員に対して必要なスペースは概ね確保できている。活動内容に応じた空間設定を行っているが、活動が重なる時間帯にはやや手狭に感じる場面もあり環境調整を工夫している。	空間の使い方を見直すと共にフロア内のレイアウトや備品配置を見直し、移動しやすく安全に過ごせる空間づくりに取り組んでいきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7	生活と自発が同じ事業所内にある為手際の場合はヘルプに回れる	状況に応じて協力しながら支援を行っている。基本的な配置基準は満たしているものの利用者1人ひとりの状態やその日の状態に応じた柔軟な対応が求められるため担当配置の見直しや職員間の連携の強化、柔軟に協力し合える支援体制の充実化に取り組んでまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5	ロッカーに名前のカードを貼り分けるようにしている。/ご利用者さまにわかりやすい構造化を改善中/生活空間は活動内容に応じて工夫されているが、より分かりやすい構造化について検討の余地もあると感じている。設備面については安全に配慮した環境づくりがなされている。/フローリングが柔らかい素材になっていたり、じゅうたんコーナーなどの暖かみのある室内になっているところ。/バリアフリーは完璧です。	歩き始めたお子さんや元気に走り回ることもちがちな転んでも痛くないように、また職員もこどもに目線を合わせ膝を着いて向合うのでフロアはクッション性のある床になっております。こどもたちにとってより安全で分かりやすく過ごしやすい環境づくりに継続的に取り組んでいきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	朝夕の掃除と消毒を行っている。/洗濯やそうじ、消毒で気持ちよく迎え入れて過ごせる工夫や活動に応じてバギーなどものをよせてスペース確保の工夫/キッズの部屋は、広々遮るものもなく、日当たりもなく、とても気持ちが良い。/季節に関連した掲示物があったり、音楽も流せるようになっていて、快適な空間だと思ふ/生活空間は概ね清潔に保たれており、活動に応じた空間設定がなされている。より快適な環境づくりに向けて工夫を続けている。	おもちゃが子ども自身で管理しにくい状況にある。どこにオモチャがあるのか、遊び終わったらどうするべきかを学ぶ・管理しやすいようにしていきたい		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		活動的に遊びたい子、ブロックやおままごとをしたい子、絵本を読みたい子、また、医療的デバイス・コンセントの位置をベースに動きたい子が別られるように工夫している。/その日の活動によって配置を変えたり、仕切りを使うなど工夫している/ワンルームだが、衝立て利用してコーナー分けの工夫/必要に応じて個別に落ち着ける場所を確保するよう努めている。状況に応じて柔軟に対応している。/施設内には訪問授業、歯科受診、美容利用、個別面談などに利用出来る部屋があるので良いと思います。	子どもたちが安心して休息をとれるよう午睡の環境について特に音や明るさ、スペースの確保など個々の状態に応じた環境調整についてはさらなる工夫をしていきます。		
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	年2回の自己評価票にて個人目標を立て実行しています。/朝の会を上手に使い、目標をみんなで確認できている。/上司に伝える工夫 広く職員参画は進行中/業務改善に向けた目標設定および振り返りの機会を設けており、職員が参画できる体制となっているように感じる。話し合いの内容は日々の支援に反映され、継続的な質の向上に努めている。	職員の参画に偏りが見られる点を課題として認識しております。より多くの職員が関われる体制づくりと意見共有の工夫を行ってまいります。		

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	アンケートを実施し、保護者の評価・意見を受け止め、業務改善に繋げている。/評価表に目を通して周知する工夫 内容を業務改善につなげる役割を担い努めている/希望を即反映、というのほどの会社・業界においても難しい。でも話を聞くということは継続していると思う。/ミーティングで情報共有できていたら、ワークスにも流して共有出来ていると思う。面談後の報告がワークス等でされており、その際に保護者の意向等も聞いているので良いと思う/毎年個別面談を行い、保護者様からの意見や要望を聞いてそれをミーティングなどで共有していること。	保護者の意向を把握する機会は設けているが、十分とはいえない面もある。いただいた意見については職員間で共有し、可能な範囲で業務改善につなげている。今後、把握機会の充実について検討していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	毎月ミーティングを行っている。/上司に伝える工夫をして改善に向けている/意見は求められていると思う。その内容が業務改善に繋がっているかは正直感じられてはいないため、今後に期待したいと思っている。/ミーティングやカンファレンスで機会を設けてもらっている。/上司へ報告の工夫 業務改善は進行中/職員が意見を共有できる機会が設けられており、日々の支援や業務改善に活かしている。現場の声を大切に作る体制づくりが整っているように感じる。	意見箱などもあれば良いのかなと思う。家族にも。スタッフにも。毎月のミーティングや職員面談、事業所アンケートがあり意見や業務改善の提案など発信する機会を設けて実施していますが、より把握しやすいよう意見箱などの設置等も視野に入れ検討していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部講師の勉強会もあり、新たな意見交換の場があるので良いと思う。/第三者評価の実施状況については詳細を把握していないが、外部の視点を取り入れることの重要性は認識している。	第三者による外部評価の実施については現在行っておらず、今後の検討課題としていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	研修に参加したスタッフが勉強会で報告している。/様々な外部講師の勉強会があるの良いと思う。/月に一回開催されており、手当が出るので、時間外でも参加するモチベーションは上がると思う/研修や勉強会の受講機会は確保されており、必要に応じて参加している。/研修や勉強会が行われています。参加していきたいと思えます。	引き続き職員それぞれの専門性を高めながらサービスの資質向上に努めていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	公表の具体的な方法については十分に把握していないが、必要な情報提供は行われていると認識している。	支援プログラムを作成しホームページに公表しておりますが、保護者様、職員への説明や周知方法の工夫に取り組んでいく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		支援プログラムを受けて、それぞれのチームで支援の計画を立てる時間を設けるとより良い支援ができると思う。「空いている時間」は利用者の方との関わりを大切にしているため、難しい。時間を作ることで職員の意識付けにもなると思う。/実際にフロアに入っているスタッフに聞き取りながら、作成していると思う/発達状況に応じた計画立案が行われていると感じている。/個別面談してから計画を作成していると思えます。作成には関わってない為内容を把握出来てないです。把握しないといけないと思っております。	モニタリングしながら作成しているが、多職種観点からの情報収集を活発にさせたいところが改善/状態変化のあった際、より速やかに話を聞く体制が整うとさらに良いかと思う。/聞き取りしたものをノート使用して共有している。多職種観点から情報収集が課題
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	個々の子供達に合わせた支援を行っている。/管理責任者と現場スタッフとがもっとスムーズに情報共有できると良いと思う。/実際にフロアに入っているスタッフに聞き取りながら、作成していると思う/最善の利益のために努めたい/必要に応じて支援に関わる職員間で情報共有が図られている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	3	計画に沿って支援し、個別ファイルに支援した事柄や状況の記録を行っている。/せっかくの計画が立てたまにならなっている傾向があるように感じる。その日の人数や送迎時間によって難しい日もあると思うが、朝の会でその日の利用者の計画を共有することで関わりや支援ができると思う。/ワークスに流してくれているのでわかりやすい。/カンファレンスやミーティングで話し合う時間が設けられている。有効に使えるように、話し合いを進めていけたらと思う/共有の方法については十分とはいえない面もあると感じる。日々の支援の中で必要な情報は確認しながら対応している。	多職種観点で活発に話し合いをできるように改善する。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	日々の行動観察を通して子どもの適応状況を把握している。/アセスメントはしていないように思えます。行動の観察は常にしている、スタッフ間で共有は出来ていると思えます	発達の過程の表を活用して育ちのアセスメントしております。インフォーマルアセスメントや外部機関で実施された検査結果より職員間で共通理解に努めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	ガイドラインの視点も意識しながら支援内容が設定されていると認識している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	活動担当等を決めチームでプログラムの立案を行っている。/教師・保育士の方がベースで活動内容を計画しているため、詳細は知り得ないが協力して計画・立案・実施がされていると思う。職種の異なる実施を一緒に行う所からがほとんどではあるが、提案をしたり、その日の利用者の方が安全に楽しく実施できるように協力していきたい。/利用者からの気持ちも聞きながら活動を検討して良いと思う。/保育士や支援員やナースがチームになって計画している/今後チームですすめる形にしたい/立案の詳細なプロセスについては十分に把握していない。必要に応じて職員間で意見交換は行われている。/毎月、活動内容が決まられています。素晴らしいです。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		活動担当者がそれぞれのアイデアを持ち寄るので固定化されないよう工夫している。意見を募集していたり、固定しないよう検討している。/季節にあったプログラムを計画したり、イベントのプログラムも毎年新しいものを計画している 固定しないために多職種介入、意見交換を求めている/子どもの発達状況や興味関心に応じて活動内容を調整しており、できる限り固定化しないよう工夫している。/毎日、活動が違い、工夫されています。素晴らしいです。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	活動の担当によって、活動の内容に併せて個別の活動に分けてくれる方もいる。活動担当者1人ではアイデアや方法に限られると思うので、事前に相談があったり、その場でより良い時間が利用者の方が過ごせるように協力的に、今後もしていきたい。/本人の好みに合わせたり、苦手なものに対しても配慮した活動を行なっている。/個々の障害や発達にあった遊びを考えている。また、集団生活の中での遊びも考えられていると思う/それぞれの特性に配慮した対応がなされていると感じる。/個別に対応しています。素晴らしいです。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	朝の会の中で支援の内容、子供のケアなどの確認を行なっている。/計画表などワークスで流してくれるので、わかりやすい。/朝の来所の時間帯はとても慌ただしく、打ち合わせの時間が取れないのが現状。朝の会をもう少ししっかりと行なって、その中でスタッフの打ち合わせもできると良いと思う/担当者や補助するスタッフもいる為、連携されています。素晴らしいです。	毎回十分な打合せ時間を確保できていない面もあるので今後、より連携を深める体制づくりに努めたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	必ず打ち合わせや振り返りは行っていないが、気付いた事などをLINE Worksで共有している。/毎回十分な時間を確保できているとはいえない面もあるが、共有できた内容については、次回の支援に活かしている	支援終了後に時間を設けることができず行っていない日が多いと思う。お昼の準備にあたる前に、活動のまとめも兼ねて行う所から始めたい。/終了後は、帰宅の準備や送迎等で時間を作れないのが現状。せめて週に一回でもそういった時間を作れたらと思う/個々で振り返りあるが共有までに至らずなのが課題気付いた点を共有し次の支援につなげられるようアプリを使用し振り返りや把握に努めているが、支援の検証や改善、支援終了後の振り返り方法の課題検討をしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	4	連絡帳を活用して、記録に残すようにしている/個別に活動の内容を連絡帳に記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	必要に応じて児童発達支援計画の見直しが行われていると認識している。/定期的にモニタリングが行われています。	概ね6か月毎に見直しを行っておりますが、モニタリングをすすめている際には多職種観点からの介入を課題として取り組み、外部カンファレンスや会議等へは適任者を選び出席していきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	個々の利用者にあったスタッフの選定されたいと思う。/必要に応じて内容の共有が行われているが、より広い情報共有が望まれると感じている。/会議には担当者が参画していると思います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3	連携されています。	関係機関との連携し体制は整えられていると考えられるが、具体的な連携状況については職員へ周知や情報共有が課題と考えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	保育園、幼稚園との連携も強めていけたらと思う。 幼稚園、保育所や学校などと連携をとった支援を話し合う機会があれば、と思う	併行利用や移行に向けた支援の具体的な連携や情報共有の状況についても職員へ周知や情報共有が課題と考えております。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		情報提供や見学を伴う引き継ぎをしている。/訪問学校で先生が来ているので、いつでも質問できる環境ではあるので良いと思う。/専門のスタッフが情報共有や連携しているとおもうが、自分がよく分かっていないので、今後勉強していきたい/就学時の移行支援については実施されていると認識しているが、具体的な情報共有の内容までは十分に把握していない。必要に応じて共有が図られていると考える。		
	(28~30は、センターのみ回答)					

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4	支援の中で心配な子についてカンファレンスすることがあるが、その際に助言等を聞けると話し合いがより効果的になると思う/定期的なスーパーバイズや助言を受ける機会が設けられていないが、専門的な視点を取り入れることの重要性は認識している。	利用者の精神面のアセスメントや保働きかけについては課題と捉えております。専門的な視点からのアドバイスなどもいただいたり弱いと思う。支援センターとの協力を図っていききたい。ができるのであれば、利用者の精神面の保護やアセスメントを行えるようにしたい。/連携されているのだから、現場スタッフはわからない。/地域とのパイプを強くしたいのは今後の課題
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	地域の中で他のこどもの交流機会は設けられていないが、地域とのつながりを持つことの意義は理解している。/保育園に通いながら、利用している子もいます。	保育園との交流の機会を設ける為話し合い中。動き出すことになった場合は看護師の立場から、どうすれば安全に有意義に楽しい時間を過ごせるのかを一緒に検討したい。/交流できる園があると、同じ時ごろの子供達との交流により成長を促せるのではないかと考える。地域の他の子供達と触れ合う活動を計画していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳や帰りの送迎時お伝えしている。/利用者の子のできたこと、できなかったこと、興味を持っていたこと、家族の希望や要望は送迎の際に短時間でも話をするように努力をしている。今後も続けていきたい。/送迎の際や、連絡帳を通して、成長を伝えるようにしている/お迎えに来られた保護者の方と話す時間をしっかり取れていると思う。その際に、悩みを聞いたり、活動中に見せた成長の様子も話せていると思う/日頃からこどもの様子について保護者と丁寧に伝え合い、共通理解を図っている。継続的な情報共有を行っている。/送迎の際、連絡帳、個別面談などで行われていると思います。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	体系的な家族支援プログラムの実施には至っていないが、日々の情報共有や助言を通して保護者支援を行っている。	どのようなニーズがあるか、アンケートや保護者面談などで把握し、家族に対する支援プログラムの計画していきたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	紙面と口頭で周知して、不明な点について回答できるようにスタッフにも周知できている	運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、利用開始時や必要に応じて丁寧に説明が行われていると認識している。今後も、保護者が安心して利用できるよう配慮していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		こども・家族のためにどうしたら良いのかを、自分なりに常に考えて行動している。/定期的に行われている面談で、しっかりと話が出来ていると思う/こどもや保護者の意向を確認する機会を設け、意思を尊重していると認識している。こどもの最善の利益を最優先に考えた計画立案が行われていると感じる。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1	保護者面談を行なっている。/定期的に行われている面談で、しっかりと話が出来ていると思う/納得のもとで支援が開始できるよう配慮されていると認識している。/必ず同意をもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		面談や送迎時などに保護者とその都度話をしている。/送迎で会う家族の方とは話をするように心がけている。ゆっくり話をする時間はなかなか設けられないため、ゆっくりと話を聞く必要があると感じた場合や、ご家族から要望があった場合は上司に報告して場を設けたい。/送迎の時間をうまく活用して表出できる場になると良いかと思う。/定期的に行われている面談で、しっかりと話が出来ると思う/面談や日々のやり取りを通して必要な助言や支援を行っていると感じている。保護者が安心して相談できる体制が整っていると感じる。/必要に応じて行われています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	定期的に茶話会を行い保護者との交流の場を設けている。/昨年行った茶話会は有意義な時間だったと思う。家庭の事情や積極的な参加ばかりではないので人数は少なかったが年に数回開催できたらな…と思った。/介護の可能性もある、兄弟にも理解を深めていただける場の提供は大事な事かと思う。/父母の会やきょうだい交流の機会の設定には至っていないが、保護者同士のつながりの重要性は認識している。	介護の可能性もある、兄弟にも理解を深めていただける場の提供は大事な事かと思う。/個別に、保護者の相談の機会は設けられているが、交流の機会はまだ見たことがない。茶話会や親子のランチ会など企画しても良いのでは。/前におこなった茶話会や、保育参観のような場を設け、保護者同士の交流にもつなげられるようにしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		自分だけで解決できないため、相談があった場合には上司に報告し相談を行っている。ワークスの活用により、迅速にできていると思う/ワークスを活用して情報共有されて、対応等についても周知されていると思う/相談や申入れがあった際には、その都度適切に対応していると感じているが、体制としての整備状況や周知の方法については十分に把握していない。今後、さらに明確な体制づくりと共有が図られることで、より良い支援につながると考える。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	委員のスタッフが、定期的に情報発信している/定期的な通信の発行や必要に応じた情報発信を行い、活動内容や行事予定、連絡事項等を保護者へ分かりやすく伝え、安心して利用できる環境づくりに努めている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		保護者の同意書をいただいている。 個々の利用者の意向が周知されている 職員間でも守秘義務の徹底を図っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		利用者の方特有の動作や表現・表情は、ご家族にも話を聞いて、共有するようにしている。あくまで利用者の方が主体。コミュニケーションを密に行うようにしている。 新しいスタッフにも、それぞれのコミュニケーションの取り方について、教えられている。/特性や状況に応じて、分かりやすい説明や視覚的支援等を取り入れ、こどもや保護者との意思疎通に配慮している。安心して情報共有ができる環境を整えている。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	地域に開かれた事業運営の重要性は認識している。/近隣の方たちやボランティアを募ってみる等促して地域の方とかかわりをもつ機会をもうけてみる。/回数は少ないが行われていると思います。	イベントを開催する時に近所の方を招待できるよう計画を立てる。 今後の課題であり、検討中/地域住民を招くような行事がないように思う。車の出入りが多いので、年に何度かあいさつ的なものがあれば良いと感じる。/地域の方も参加できるイベントがあってもいいと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	避難訓練を行なっている。/災害伝言ダイヤルなど、定期的に訓練する機会が設けられている/各種マニュアルは策定し、職員および保護者へ周知している。発生時に適切な対応ができるよう体制を整えている。	マニュアルはあっても、周知や訓練が十分でないと思う。現在、カンファレンスとして設けている生活介護の無い土曜日をマニュアル共有や訓練の時間にも使うことを提案したい。/感染などについて曖昧な感じがするので、もう少し明確になると良いかなとも思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	3		マニュアルは作られているが、実際に災害を想定した訓練があってもいいと思う/業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害時に備えた体制を整備している。今後、より実効性を高めるため、定期的な訓練の実施について考えていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		個人のファイルを作成しており確認できるようにしている。/把握しているが十分でないと感じている。現在作成中の情報共有のシートを有効に活用したい。/それぞれ指示書のファイルがあり、預かっている内服のリストが作成されている/服薬状況や既往歴、発作の有無等について事前に確認し、職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時間を取りをしスタッフで情報共有している。/アレルギーについての利用者のリストがある/食事介助にあたる際には誤食防止に配慮し、手袋着用等、安全管理を徹底している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	安全面についての勉強会が企画されている 安全管理に必要な体制を整備、職員への周知も行い、安全に配慮した支援を実施していると認識している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	家庭との連携を図りながら、安全に配慮した支援体制を整えられていると感じる。	家族へどのように周知されているか把握していないので、確認しておきたいと思う
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		事業所内で閲覧し、周知している。/ヒヤリ・ハットの共有のため声掛け、カンファレンスの実施を行っている。繰り返すことのないよう多方面から意見を取り入れて改善していきたい。/確認するような声掛けをしていたら、確認サインを、促すなど工夫されている良いと思う。/インシデント報告書のファイルがありスタッフは閲覧するように周知されている。また、必要に応じてミーティングが開かれて、改善案について話し合っている/ヒヤリハット事例をファイリングし、事業所内で共有、目を通したかチェックシートで管理されている。再発防止に向けた具体的な方策を検討し、情報共有を通して安全管理の向上に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	虐待防止委員による勉強会を行なっている。/勉強会などで取り上げていたり工夫されている/勉強会が開催されて、スタッフの研修機会が設けられている/虐待防止に関する勉強会等研修機会を確保し、職員の意識向上と適切な対応の徹底を図っていると認識している。組織として予防と早期対応に努めていると感じる。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	保護者に承諾書をもらっている。/やむを得ないケースについて、理由も含めてスタッフに周知されている。	全利用者がそういった説明がされているのか、計画書に記載されているのか把握していない。/事業所としては身体拘束を行わない方針であると認識している。ただし、具体的な運用状況や計画への記載状況については十分に把握していない。	